

## ⑥その地域、“ならではの”の学びを チームで創出（大田市）

### 社会教育の専門性を、こんな課題に…

- # 地域での学びを充実させたい
- # 地域の「ひと・もの・こと」と連携して教育課程を豊かにしたい
- # 学校と地域との連携体制を進めたい

### 取組のポイント

- ① 社会教育主事や、多様な属性・専門性を持つ人材たちからなる“教育魅力化チーム”を組織。子供たちと地域をつないで、魅力的な学びの場を創出。
- ② 学校教育課と社会教育課の双方に社会教育主事を配置。連携・協働を基盤とする教育魅力化への意識を共有し、それぞれでアクションを起こす。

### 取組の様子 ・ 成果等

- ・教育魅力化チームが行政や企業・地域等と学校教育、幼保小中高の連携、協働をコーディネート。その地域ならではの様々な学びに発展。
- ・学校外において、高校生の自己実現につながる学びを行政や地域企業等が関わり、対話を通してサポートする取組を立ち上げ。

# その地域ならではの 魅力的な学びの場の創出（島根県大田市）

## 社会教育主事の配置状況等

島根県大田市：人口約35,000人  
2019年度は社会教育課に5人のほか、学校教育課にも1人（県からの派遣・教員籍）を配置。あわせて6人に社会教育主事を発令している。

## 取組の概要と特長

学校と市役所各課・施設等が連携し、子供たちと地域をつなぐことで大田ならではの魅力的な学びの場を創出する教育魅力化の推進に取り組む係を学校教育課に設置。教員籍社会教育主事らを中心に、多様な専門性・属性を持つ人材を積極的に登用した「教育魅力化推進チーム」が、社会教育課に配置されている社会教育主事とともに連携・協働をサポートしている。

## 教育魅力化推進チーム・魅力化コーディネーターの取組

子供たちと地域の大人をつなぎ、地域総がかりで魅力的な教育を創出することを目的として、平成28年度から県立高校・市立小中学校・山村留学等を担当する「教育魅力化コーディネーター」を配置。**教員籍社会教育主事や、多様な属性・専門性をもつ人材を積極的に登用したチームを組織**。行政や企業、地域等と学校教育、幼保小中高との連携・協働をコーディネートしている。また、ケーブルテレビやFacebook等を活用した広報も実施している。

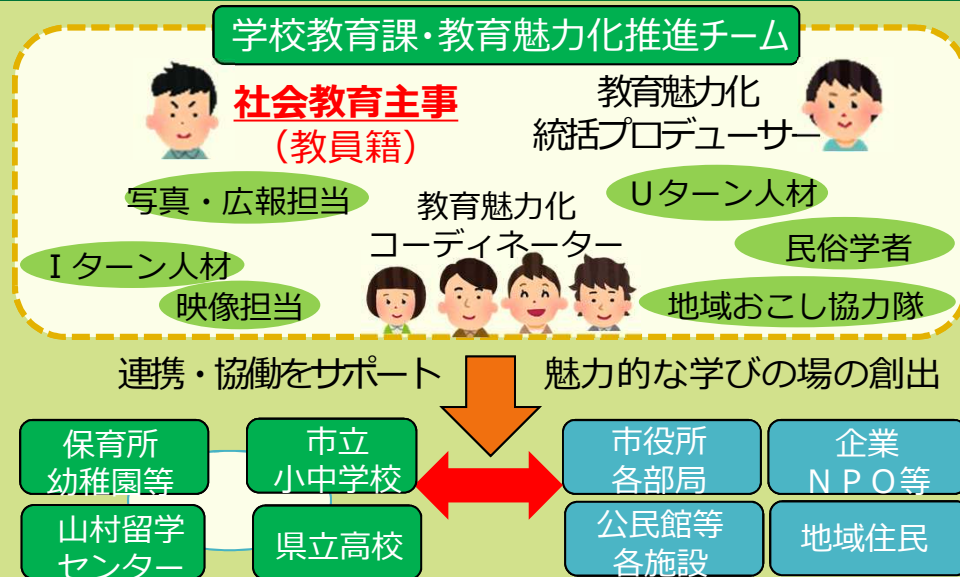
### 小学校×地域×高校①

小学校の地域を題材とした学習から「ねぎみそ」を商品化。地域のレストハウス・高校生（ビジネス系列）の学びともコラボレート。



### 小学校×地域×高校②

高校（普通科）の地域探求学習と小学校の石見銀山学習のコラボレート。小学生と高校生が一緒になって石見銀山紹介動画を作成。動画配信サイトにて発表。



## 地域の大人と高校生が本音で話し、共に考える「おおだ共育共創ラボ」

### 企業×高校生×行政

高校生が中心となってプロジェクトを生み出し、チャレンジを通して成長できる教育環境の構築を組織・立場・地域を超えたチーム「大田市」を立ち上げて進める取組。

放課後の時間（教育課程外）に高校生の「もっとこうなったらいいのに」や「こんなことやってみたい」等の思いを行政や地域の企業人が関わり、対話を通してサポートしている。

### おおだ共育共創ラボの目標

ラボでの活動を通して

- ・自らの思いや考えていることに向き合うこと
- ・思いを形にするために実際に行動し、そこから学ぶこと
- ・地域の大人との交流を通して多様な価値観に触れること
- ・大田市が様々なチャレンジできるフィールドであるという意識が高まること
- ・地域への愛着や誇りを醸成することを目指している

